

# 中山選手 侍ジャパン 大学代表 候補合宿へ

## 樽商大から初選出

### 「やるからにはアピール」

小樽商科大硬式野球部(35人)2年の中山智隆さん(19)が、12月1〜3日に松山市で行われる「侍ジャパン大学代表」(大学日本代表)候補強化合宿の参加メンバーに選ばれた。小樽商科大からは初めて。中山さんは「まだ実感がわかない。やるからにはしっかりとアピールしたい」と話している。

(有田麻子)

新戦力の発掘を目的に、全国から大学3年以下の40人が選ばれ、道内からは中山さんと東海大札幌2年の赤尾光祐さんの2人が参加する。来年6月にも強化合宿が行われ、二つの合宿の中から約30人が代表として日米大学野球選手権大会など海外の大会に出場する。

中山さんは檜山管内厚沢部町出身。投手を務めた函館商業高野球部では地区大会止まりだった。大学では一塁手で3、4番打者。札幌学生野球2部春季リーグ戦では打率3割7分を記録し、本塁打1本を含む長打5本を放ち、チームを2位に導いた。2位チームから

選ばれる優秀選手賞も受けた。中山さんは「昨冬にバツティングフォームを改善し、ウエイトトレーニングで出力を上げた結果」と話す。身長165センチと小柄だが、ベンチプレス105キロを持ち上げる。

公式戦で長打を放つ様子を撮影した動画3本と自己PR書を9月に全日本大学野球連盟に提出。11月8日の発表でメンバーに選ばれたことを知った。「本当にびっくりした。高いレベルの選手たちが、どういうプレーをするのか楽しみ」と期待する。主将の3年斎藤圭悟さん(20)は「小樽商科大史上初の快挙だ。智隆は勉強熱心で打撃も守備もいいプレーをする。みんな刺激を受けている」と話している。



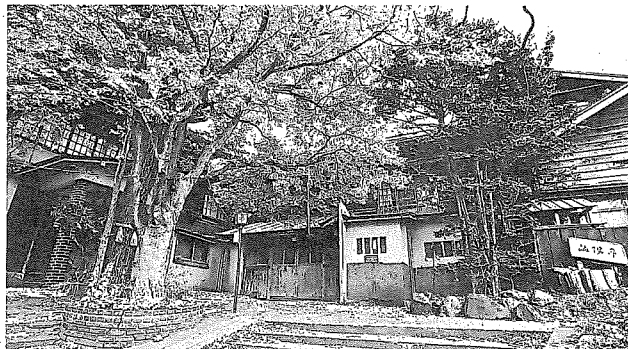
▲「侍ジャパン大学代表」候補強化合宿に参加する中山智隆さん

# 旧料亭「魁陽亭」再生へ

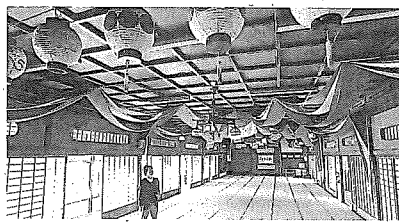
## 22年開業予定 隣接地にホテルも

### 小樽の歴史的建造物

【小樽】明治期から伝わる小樽市指定歴史的建造物で、休業中の旧料亭「魁陽亭(海陽亭)」(同市住吉町)について、総合不動産業のインフィニットリミナス(東京)が保存改修し隣接地に新設する7階建てのホテルとともに一体開発することが分かった。2022年開業を目指し、改修は来春着手する予定。1906年明治39年の榊大園境画定会議後の祝賀が開かれた大広間を、史料展示を兼ねた宴会場などとして活用する計画だ。(有田麻子)



①商都小樽の歴史を物語る歴史的建造物「魁陽亭(海陽亭)」  
②榊大園境画定会議後の宴会が開かれた大広間「明石の間」(いずれも金本綾子撮影)



魁陽亭 明治初期に開業した老舗料亭。築年は不明だが、大広間「明石の間」は1906年(明治39年)の延焼後の再建と推定されている。大正・昭和初期の旺盛な金融・商業活動の中、多くの政財界人や石屋徳次郎ら著名人が訪れた。1985年に小樽市指定歴史的建造物に、名称は魁陽亭から開陽亭、海陽亭と変わり、2015年まで営業を続けた。

魁陽亭はJR南小樽駅近くに位置し、木造7階建てで延べ床面積1807平方メートル。北前船の船主や商人が多数訪れたとして、今年5月に日本遺産構成文化財に指定された。料亭は2015年に営業を休止し、老朽化が激しいため、以降は閉鎖されていた。一般社団法人・空家空

室対策推進協会(東京)の紹介で、昨年6月に同社が買収。今年10月に所有権を譲渡された不動産投資業オール・ケア・アシスト(札幌)が3億5千万円を投資し、インフィニットリミナスが来年4月にも改修に入る。改修後はカフェや飲食店のテナントを誘致。建物内には初代首相、伊藤博文が使った布巾や明治期の政治家、後藤新平の書画など著名人ゆかりの品が残されており、小樽商大の協力で史料整理し、展示室をつくる方向だ。また、同社は隣接地約1650平方メートルを来年4月までに取得し、ホテルを建設する計画。7階建て約40室で、1泊2万円前後の宿泊料を設定する。建設業者や運営事業者は今後選定する。

インフィニットリミナスの佐藤勉社長は「今後100年残すために、魁陽亭ならではの歴史と文化を生かし、地域に愛される建物にしたい」と話している。

## 小樽で働く魅力 学生ら意見交換

### 日本公庫があすシンポ

日本政策金融公庫(日本公庫)小樽支店は16日午後2時40分から、小樽商科大5号館で、「小樽を働く場所、働きたい場所にするために」をテーマとした記念シンポジウムを開く。

日本公庫の発足10周年を

記念し、地域経済に貢献できる人材を育てようと初めて企画した。シンポジウムでは、樽商大の学生が市内の6金融機関で働く商大OBの職員と地域の課題について意見を交わす中で考えた、金融機関が果たす役割について発表する。

小樽商工会議所の野田昌孝事務局長が「小樽の現状や課題」をテーマに基調講演するほか、金融機関の役

員や学生らが、小樽を働きたい場所にするために必要な対策などについて意見を交わす討論会も行う。

入場無料。希望者は直接会場へ。問い合わせは日本公庫小樽支店☎0134・23・1167へ。

(谷本雄也)